

業績優秀者返還免除申請書（様式1）の  
記載に関する注意事項について  
（博士前期課程）

- (1) “特に優れた業績”として評価されるのは、大学院における教育研究活動等に関する業績及び専攻分野に関連した学外における教育研究活動等に関する業績です。  
専攻・コースによって次頁の「第一種奨学金返還免除審査対象項目」のとおり審査対象項目が異なります。対象外の項目に記載しないよう留意してください。
- (2) 記載した業績には必ず証明資料を添付してください。（証明資料がないものは審査対象となりません。）また、**資料番号、ページ番号等を記入してください。**  
GPA, GPT, MOT, 創成研究については資料不要です。  
成績証明書は必ず添付してください。
- (3) 空欄は該当がないものとして見なされます。
- (4) **奨学金貸与終了時に在籍している課程で奨学金貸与期間中に挙げた業績が評価対象となります。学士課程在籍期間中の業績は含みません。**  
また、博士前期課程2年次から奨学金を受給した場合は博士前期課程1年次の業績を含めることはできません。

第一種奨学金返還免除審査対象項目(専攻・コース別)

業績優秀者 返還免除申請書 (様式 1-1) 「教育研究活動等の業績」の 該当項目	専攻・コース 項目	数物科学専攻			物質化学専攻		機械科学専攻	フロンティア工学専攻	電子情報通信学専攻	地球社会 基盤学専攻		生命理工学専攻
		数学コース	物理学コース	計算科学コース	化学コース	応用化学コース				地球惑星科学コース	社会基盤工学コース	
1 学位論文その他の研究論文	<1> 発表 (学会地方大会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	<1> 表彰 (学会地方大会)		○		○	○	○	○	○	○	○	○
	<2> 発表 (学会全国大会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	<2> 表彰 (学会全国大会)		○		○	○	○	○	○	○	○	○
	<3> 発表 (国際会議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	<3> 表彰 (国際会議)		○		○	○	○	○	○	○	○	○
	<4> 投稿 (学術雑誌)						○	○	○			
	<4> 掲載 (学術雑誌)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	<4> 表彰 (学術雑誌)		○		○	○			○	○	○	○
5 発明	<5> 出願 (特許・実用新案)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	<5> 登録 (特許・実用新案)		○		○	○	○	○	○	○	○	○
	<6> 参加 (関連分野コンテスト等)							○	○			
	<6> 表彰 (関連分野コンテスト等)							○	○	○	○	○
6 授業科目の成績	GPA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	GPT									○		
	MOT コース修了										○	
	創成研究 I・II						○		○		○	
	<7> 実践活動 (課題研究に基づく)						○				○	
	海外留学, 国外での教育研究	○	○	○					○			
国際交流科目, 環境技術海外研修						○			○		○	
7 研究又は教育にかかる補助業務の実績	<8> TA・CLA 評価	○	○	○		○	○	○			○	
8 音楽, 演劇, 美術その他芸術の発表会における成績	<9> 専攻分野に関連した学外における発表会成績 (音楽, 演劇, 美術, その他芸術)										○	
10 ボランティア活動その他社会貢献活動の実績	<10> 専攻分野に関連した学外における活動の実績 (ボランティア活動, その他社会貢献活動)		○								○	

※ 大学院における教育研究活動等に関する業績, 及び専攻分野に関連した学外における教育研究活動等に関する業績が評価対象です。

2024年度 業績優秀者返還免除申請書

西暦 2025年 2月 1日

独立行政法人日本学生支援機構理事長殿

私は以下について承知したうえで、特に優れた業績による返還免除を申請します。なお、本申請書記載内容に相違はありません。

- 日本学生支援機構が、免除認定者の職業や業績等を含めた特に優れた業績による返還免除の調査への協力を求められることを承知しています。
(2023年度以降に博士(後期)課程及び博士医・歯・薬・獣医学課程において第一種奨学生 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が実施する「科学技術イノベーション創出の創設事業」又は「次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)」又は「国家戦略分野の若手課程学生の育成事業(BOOST)次世代AI人材育成プログラム(博士後期課程学生支援)」の免除が取り消されることを承知しています。

旧姓があり、旧姓で表記されている業績がある場合は、「機構(奨学)太郎」のように、旧姓を( )書きしてください。

フリガナ キコウ タロウ
氏名 機構 太郎

大学院名: 金沢大学 大学院
課程: 修士(博士前期)課程
研究科名・専攻名: 自然科学研究科・●●専攻
学籍番号: 9999999
奨学生番号: 6230699999
生年月日: 西暦2000年4月5日

上記で選択した課程において、内定者として認定されている。 ※該当する場合のみ、□を■にしてください。

大学院における研究課題 ↓専攻分野に関わらず必ず記入する必要があります。

概要
博士課程の学生は、ガイドラインを満たしている業績の資料を1点必ず提出してください。返還免除内定者、「音楽、演劇、美術その他の発表会における成績」又は「スポーツの競技会における成績」を業績とする者を除き、「学位論文その他の研究論文」の提出は必須です。

- 必ず根拠資料に資料番号を記入してください。
自身の名前等にマーカーで線を引いてください。

(2) 必要に応じて行を挿入してください。行の挿入は3頁以上になっても構いません。 内定者も資料提出してください。(学位論文は添付がなくても可)

Table with 4 columns: 業績の種類, 資料番号, 機構に提出, 学位論文/研究論文/学会での発表/日本学術振興会の特別研究員に採用...

※論文及び学会での発表により機構以外の給付奨学金や外部資金を獲得した場合は、「研究論文」又は「学会での発表」の欄に記入し、「受賞・表彰」欄に○をつけください。

※筆頭ではない論文も記載可能です。著者名を記載し、自身の名前に○や下線等をしてください。

業績の種類		資料番号	機構に提出
2	大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究成果		
3	大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果		
4	(専攻分野に関連した)著書、データベースその他の著作物(1及び2に掲げるものを除く)		
5	(専攻分野に関連した)発明		
6	(専攻分野に関連した)授業科目の成績	6-1	記入しないでください
7	(専攻分野に関連した)研究又は教育に係る補助業務の実績	7-1	
		7-2	
8	(専攻分野に関連した)音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績		
9	(専攻分野に関連した)スポーツの競技会における成績		
10	(専攻分野に関連した)ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績(公益の増進に寄与した研究業績)	10-1	
		10-2	

※修士課程の学生のみ対象

必要項目：①申請者名 ②研究の成果  
例：①機構太郎 ②修士制作「(タイトル)」

※修士課程の学生のみ対象

必要項目：①申請者名 ②試験及び審査の結果  
例：①機構太郎 ②修士課程修士試験合格証明書

必要項目：①申請者名 ②著書、データベース等のタイトル ③著書、データベース等の概要 ④発行年  
例：①機構太郎 ②「(タイトル)」 ③資料参照 ④2025年

自然科学研究科(博士前期課程)では審査対象項目となりません

必要項目：①申請者名(発明(考案)者名) ②特許等の出願日あるいは登録日 ③特許等の出願時あるいは登録時に付与される番号  
例：①機構太郎 ②登録日 2025年X月X日  
③特許番号 XXXXXXX

発明者全員を貢献度順に記載し、本人氏名に下線を引いてください。  
教職員、企業関係者、社会人ドクターの氏名には△印を付してください。

必要項目：①申請者名 ②成績の詳細 ③年度  
例：①機構太郎 ②資料6-1参照 ③2023年～2025年

成績証明書  
○○証明書 など

必要項目：①申請者名 ②研究プロジェクト名あるいは授業名 ③年度  
例：①機構太郎  
②「情報工学基礎I」でティーチング・アシスタントを担当。  
③2024年

例：①機構太郎  
②奨学大学○○研究室の「(プロジェクト名)」においてリサーチ・アシスタントを担当。  
③2024年～2025年

必要項目：①申請者名 ②発表会名 ③年度 ④成績  
例：①機構太郎 ②第N回○○コンテスト ③2024年 ④最優秀賞  
※発表会等の名称、開催日、開催場所、順位(●●人中●位)などを記載してください。発表会等がどのような内容であるか、国際的レベル・国内的レベルであるか、どのような人を対象とするか、などについて記載してください。

必要項目：①申請者名 ②競技会名 ③年度 ④成績  
例：①機構太郎 ②第N回全国○○競技大会 ③2025年 ④3位入賞

自然科学研究科(博士前期課程)では審査対象項目となりません

必要項目：①申請者名 ②イベント等の名称 ③年度  
例：①機構太郎  
②「夏休みプログラミング教室」  
③2024年

例：①機構太郎  
②「○○市XX事業ボランティア」  
事業で使用する利用者登録システムの構築に対し助言を行った。  
③2025年

各業績は1点につき最大ページ数が定められています。

業績の種類		最大ページ数
1	学位論文その他研究論文	4
2	大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果	
3	大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果	
4	(専攻分野に関連した) 著書、データベースその他の著作物(1及び2に掲げるものを除く)	
5	発明	3
6	授業科目の成績	2
7	研究又は教育に係る補助業務の実績	3
8	(専攻分野に関連した) 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	3
9	(専攻分野に関連した) スポーツの競技会における成績	
10	(専攻分野に関連した) ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績(公益の増進に寄与した研究業績)	3